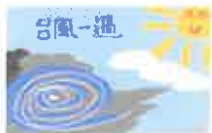




m I R a I 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

まさに「台風一過」...



台風16号が、列島にまたも大きな爪跡を残して通り過ぎました。被害に遭われた地域の方々にはお見舞いを申し上げます。

我が「晴れの国」でも、大わらわの1日でした。18日でしたか、その日も備前市にだけ大雨洪水警報がだされたこともあり、「また今回も出るのでは？」と戦々恐々でした。生徒の諸君は「デロデロ～」と、呪文の用に唱えていたかも知れませんが（苦笑）、授業時数が取られると学校って本当に大変なんです。冬休みが短くなる可能性もあるのですよ。それってイヤでしょ。



そしてご存知のように、登校時こそ出ませんでした。8時半過ぎには洪水警報が！こうなると帰りの危険性も考えると、そう簡単には生徒たちを帰すわけにはいきません。「そんな殺生な～」という声もまた聞こえてきそうですが、いきません！

当初は台風が通り過ぎることから平常通りの予定でしたが、思った以上の降水量になったため、結局午後の部活動等は中止として、4時半一斉下校としました。もちろん下校前には、教員団が3方向に分かれ危険箇所のチェック等を行いました。写真でも分かる通り、大谷川の増水もすごいのでした。

自転車置き場も、この日のすさまじさを表しています。ここで今後に向けての注意点を。着てきたカップを飛ばないようにするのはもちろんですが、特に気をつけて欲しいのがカップを入れてきたビニール袋です。これが飛び回って回収が大変でした。川に落ちてカモが間違えて食べたら大変です（！）。今後は管理をしっかりとしましょう。

そしてこの日の放課後は、写真のようにお迎えの車で駐車場が満杯以上状態となりました。「コンナンハジメテダ」と思わずカタカナでつぶやくくらいでした（？）。今回のような危険を伴う台風の日にはまた別ですが、少々雨風でしたら、「自力登校」が中学生として当たり前だと思いますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

さてさて、なんとか台風一過となりました。本校でも、トイレ工事中の現場で少々雨漏りっぽいことが起こりましたが、それ以外は特に問題はありませんでした。それぞれのオタクでも大丈夫でしたでしょうか。また今後備え（ないに越したことはありませんが）、十分な対策はしておきたいものです。



1年生フィールドワークに出かける



台風一過の21日の午前、地域の方の案内で1年生が各地区へフィールドワークに出向きました。地域の危険箇所や避難場所を知ると同時に、今回は遺跡などの地域の文化にも触れよう、という目的で行いました。

天気が最高に心配されていましたが、もうおわかりだと思いますので誰とは言いませんが、「晴男」のお陰で、まさしく最高のコンディションでの活動となりました（エッヘン）。

私は「友延方面」へ同行しました。勤務して3年目、なかなか地域の細かいことまではわからないので、何もかもが興味深く、大変楽しい活動でした。生徒たちも一生懸命に話を聞きメモを取って勉強していました。

「お宮などの大切なものは、安全な場所に建てられた。」…なるほど。「この堰のおかげで大きな石などが下流まで行かずにすみます。」…ごもつとも。「隙間のない石の組み方」…フムフム。などなど、私自身もいろいろ勉強になりました。

いつの世でも、生活の根底となるのは「安全・安心」です。昔の人たちのその知恵には感服します。同時に地域に根付いた文化遺産を見ると、その地域ならではの工夫が感じられ、土地と共に生きてきた人たちの思いが偲ばれます。

説明をしてくださる地域の方々の、伊里への愛情も強く感じ取ることができ、「人と地域のつながり」についても、いろいろと思いを馳せることのできた貴重な時間でした。



お世話になる地域の皆さん



海拔って何のことかわかる？



石碑の説明を聞きます



(私を) 見つけてカモちゃんが… (笑)



大切なものは安全な場所に…



この堰のおかげでね…



この隙間のない石垣は見事！



浄光寺でこんなカワイイものみつけ



図書室でまとめます